

「税金の使い道」

福岡市立春吉中学校

三浦 悠佳

「国土の防衛」と「海上交通の保護」兄の仕事は国を守っている仕事です。今まで一緒に住んでいた兄が、海上自衛隊に入隊しました。家にいる時は、ただの優しいお兄ちゃんでしたが、制服を身に付けて立っている姿はまるで別人のようでした。訓練が始まり、走ったり泳いだりの繰り返しでとてもきついと言っていました、なぜ訓練を続けていたのか不思議でした。ある日兄は、

「自分たちの仕事は、国を守らないといけないんだよ。みんなの税金で給料をもらい働いているから訓練も手を抜くことはできないんだ。」

と言っていました。自分の兄と思えないほどしっかりしている兄は、訓練中に百人位の中から表彰されるほど頑張っていました。細かい仕事はどのような事をしているのかは分かりませんが、みんなの税金が使われ仕事をしていることを改めて実感しました。だから、どんなにきつい訓練にも嫌な顔をせずに真剣に取り組んでいるのだと知りました。

今までは税金と聞いて、払わないといけない嫌なものと思っていました。消費税など、自分のお金が減るのになんで払わないといけないのと思っていました。

もし税金のない世にならたらどうなるのか考えてみると、とても不自由な世の中になるのだと思いました。税金の使い道には、色々なものがあります。学校で使用されている教科書やパソコン、黒板や実験道具など、様々な所で税金が使われています。他にも病院や警察、消防署など人が生活する上でなくてはならない所に税金が使用されています。もちろん兄のような仕事もなくなるということです。今回コロナウイルスのワクチン接種をしに行きました。ワクチン接種はみんな無料で受けることができます。もしこれらすべてのものに税金が使われないとすると病院や学校にも行けない人が出てきて日本の教育のレベルも落ち、犯罪も増え安心して暮らすことも出来なくなるのだと思いました。

私はまだ中学生なので、税金といっても消費税を払うことくらいしかありません。しかも自分で働いたお金ではないので税金を自分で払うことはできません。いつか大人になって自分の力で働くようになった時には、自分のことだけでなくこれからの日本を担うために、しっかり税金を納めることができる大人になりたいと思います。税金は、生活に切り離せないものです。自分だけでなく、日本の全てが安心して豊かに生活できるように、大人になった時には納税義務をしっかり果たしていきます。そして今回感じた税金の大切さを大人になるまで忘れず、教科書やパソコンなど身近なものを大切に税金の無駄にならないように工夫して使うようにして、税金でいただいた教育の機会を大切にしていきたいです。